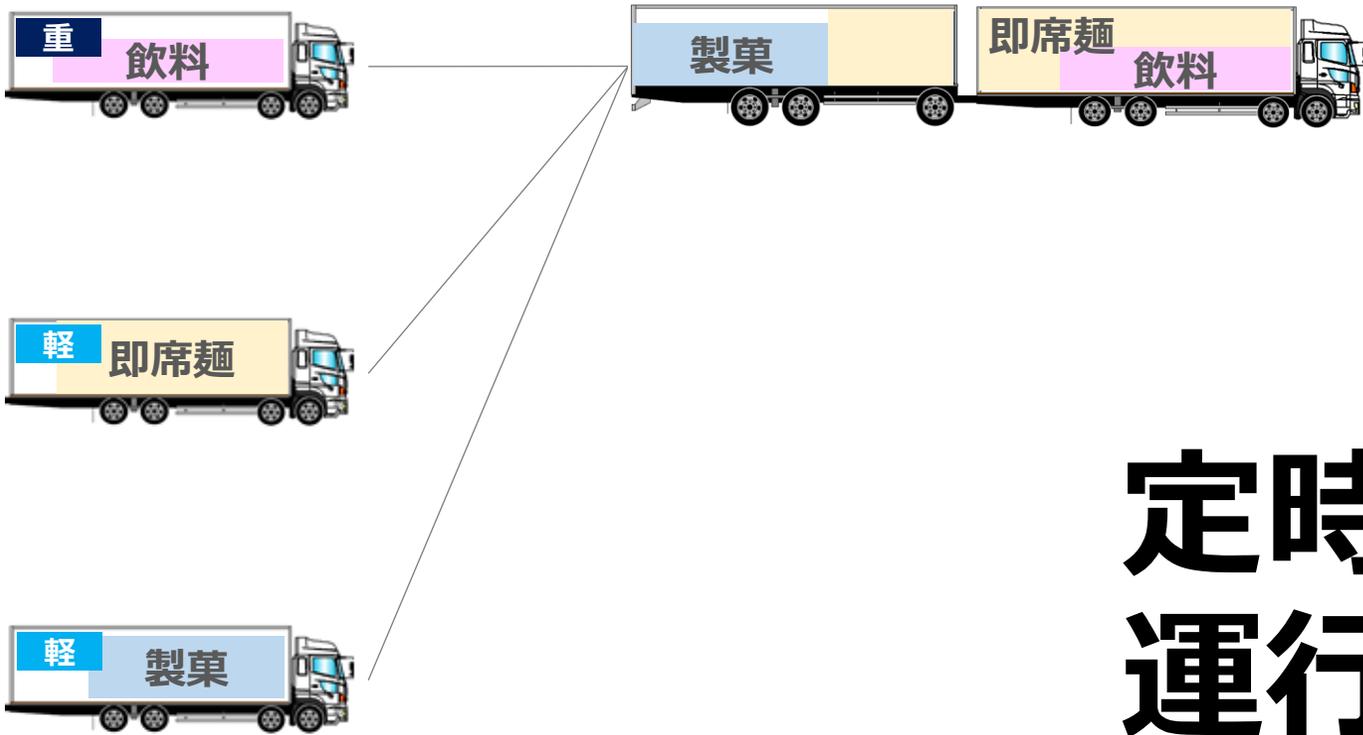


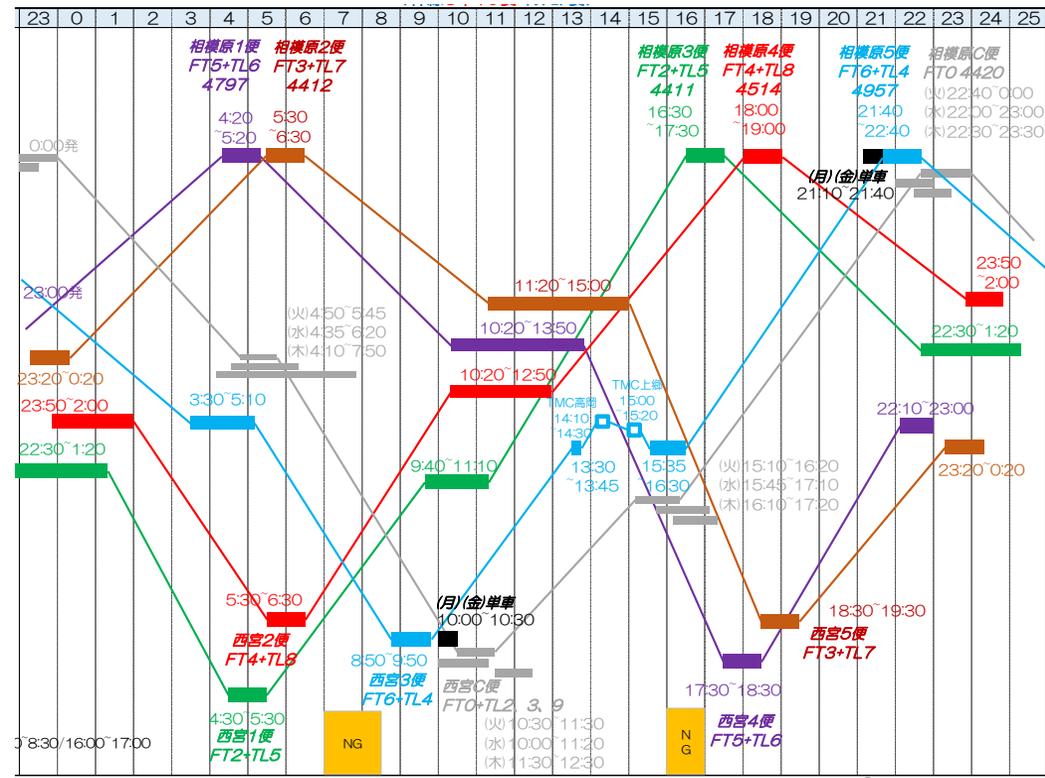
ダブル連結トラックの活用事例 通行区間の拡充の要望

2024年7月9日
NEXT Logistics Japan (株)
代表取締役CEO 梅村幸生

異業種の荷による W連結トラック + 混載



定時 運行

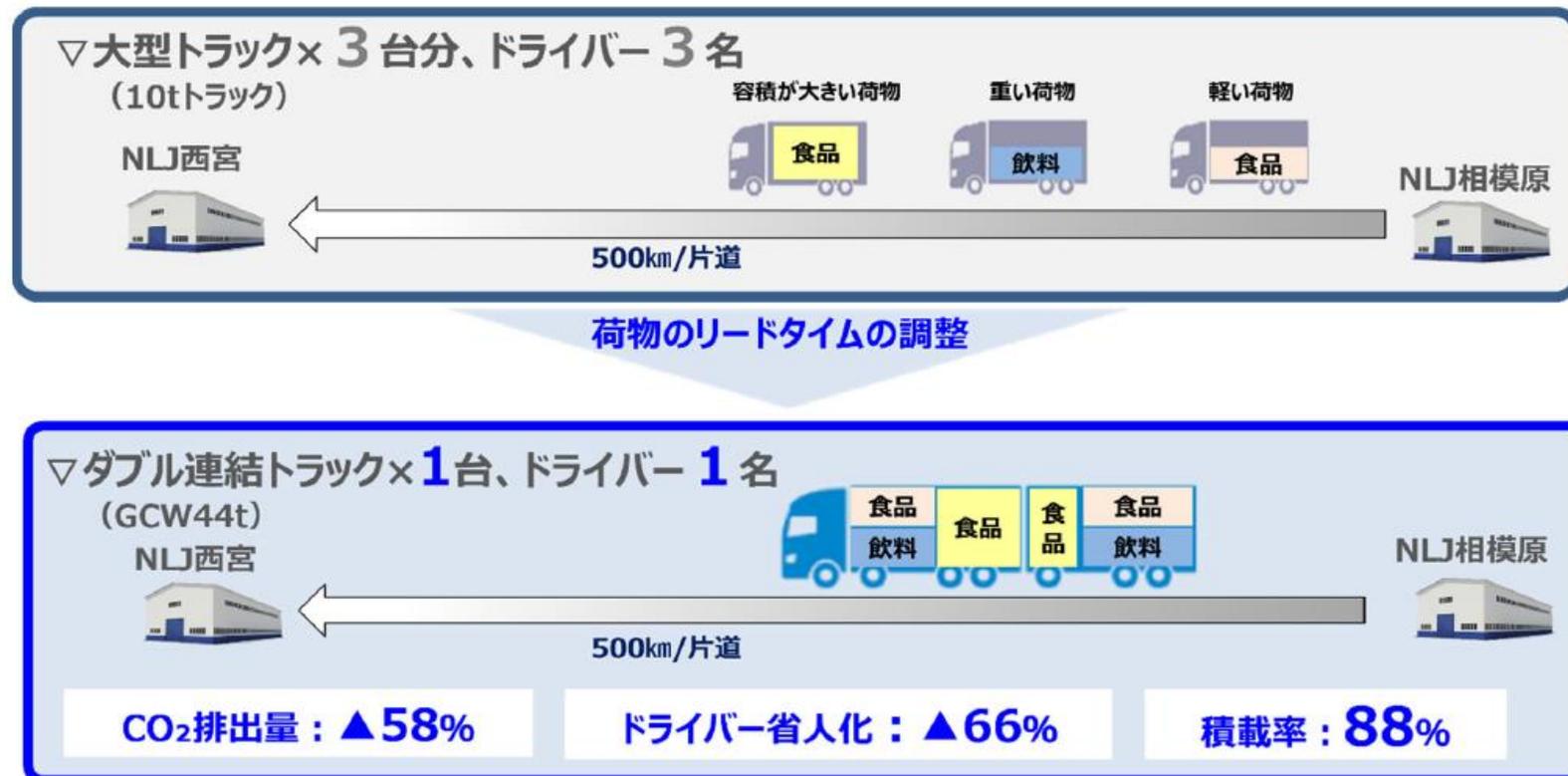


“より少ないドライバーとトラックで、より多くの荷物を運ぶ” NEXT Logistics Japan 大型トラック 3 台分の荷物を、わずか 1 台のダブル連結トラックで運ぶことに成功

—世界初 全高 4.1m ダブル連結トラックで混載輸送。物流 2024 年問題の先を見据えた取り組みを加速 —

NEXT Logistics Japan 株式会社(本社:東京都新宿区、社長:梅村幸生、以下 NLJ)は、物流の社会課題の解決を目指し、より少ないドライバーとトラックでより多くの荷物を運ぶためのオープンな仕組みをさまざまなステークホルダーと共創しています。このたび、NLJ が開発した全高 4.1m ダブル連結トラックが 1 台で、大型トラック 3 台分の荷物を混載して運ぶことに成功しました。積載率は業界平均の 38%※に対し 88%に向上したほか、CO2 排出量の 58%削減、ドライバーの 66%省人化に成功しました。

※NLJ 調べ



NEXT Logistics Japanモデル



物流のムダを
見える化

- トラック荷室センサー
- モニタリングシステム

業種業態超え
一緒に運ぶ

- XDに集約異業種混載
- 共同輸送・中継輸送

生産性・付加価値向上
1人でたくさん
はこぶ

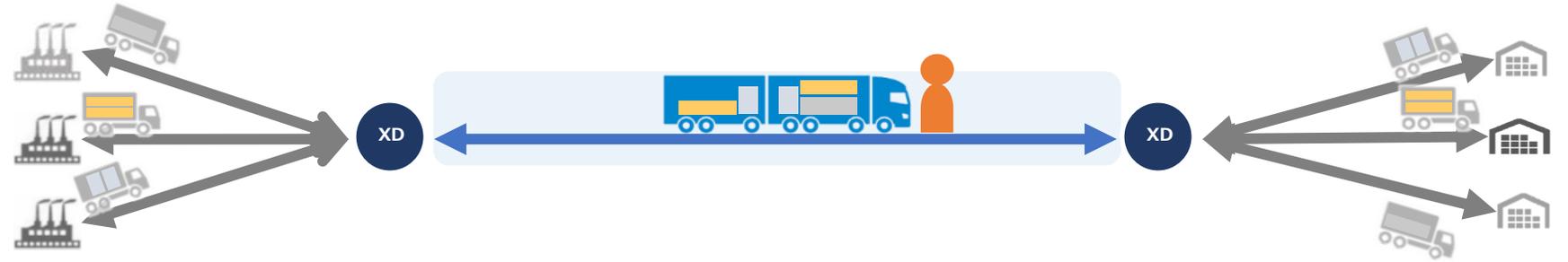
- W連結トラック活用
- トレーラー化
- トラック自動運転lv4

賃金アップ・待遇改善
トラック輸送を
魅力ある仕事に

- 年収アップ・労働時間短縮
日帰り運行
- 待機時間削減
バス予約

普及促進のための制度、環境づくり

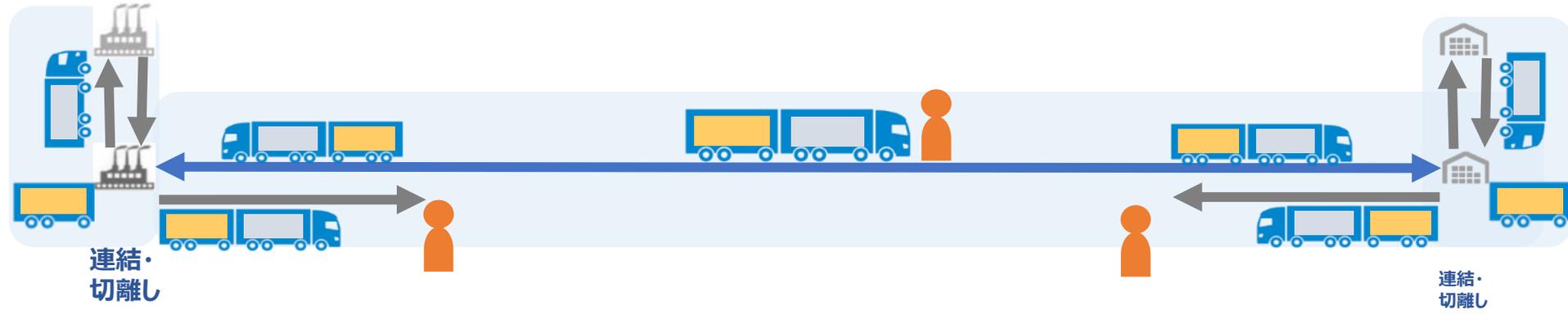
A: MIX



B: Change



C: Change XL





2024年5月10日

アサヒグループジャパン株式会社

NEXT Logistics Japan 株式会社

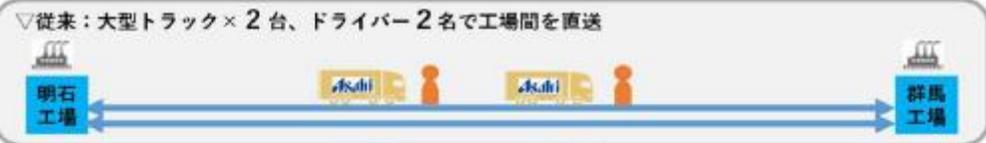
ダブル連結トラックを活用した工場間の直送を開始

ドライバー2名から1名での輸送を可能とし、CO₂排出量約35%の削減を見込む
2024年問題への対応や環境施策を強化

アサヒグループジャパン株式会社(本社 東京、社長 濱田賢司、以下アサヒグループ)とNEXT Logistics Japan 株式会社(本社 東京、社長 梅村幸生 以下NLJ)は持続可能かつ生産性の高い物流の実現に向け、NLJの25mダブル連結トラックを活用した工場間の直送を5月13日から開始します。



【アサヒ社のイメージ】



拡充申請目的①

大荷量幹線輸送にW連結トラックを活用したい

※湾岸エリアに集積している工場生産品、輸出入貨物の幹線輸送ニーズが高い

ニーズの高いエリアでのW連結トラック運用を可能とすることで、輸送における生産性を加速度的に高められる

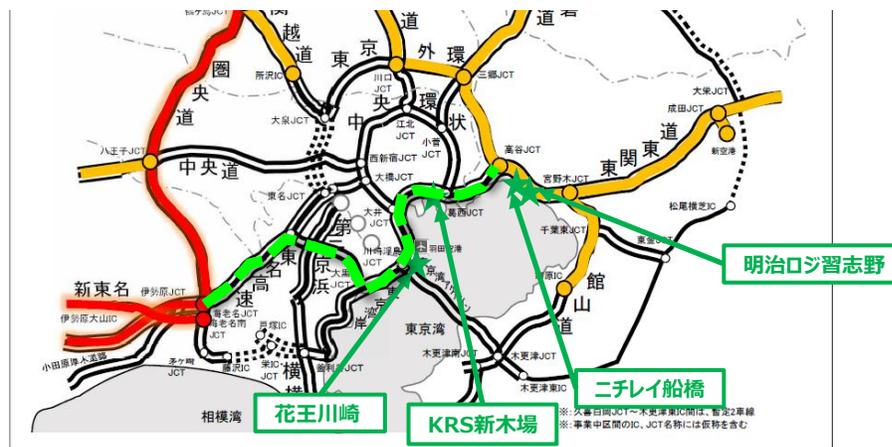
拡充申請目的②

W連結トラック輸送のレジリエンスを高めて安定輸送を担保したい

有事の際に利用できる迂回ルートを確認することで輸送継続性を高められる。
荷主側のW連結トラック導入による生産・販売活動の継続性懸念を低減できる

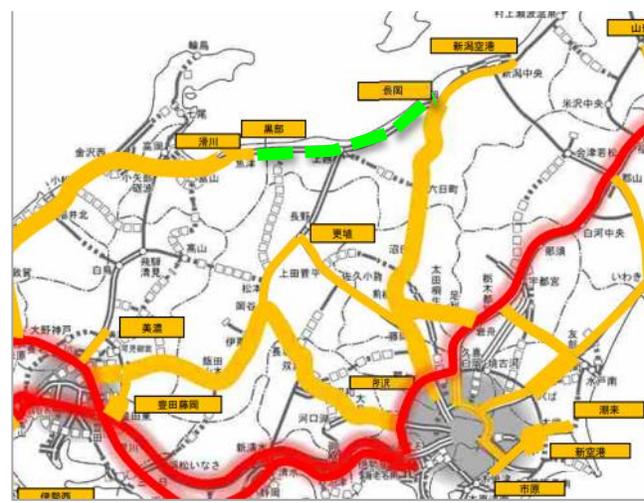
例) 東京・神奈川湾岸エリアへのアクセス

- ・東名（海老名JCT～横浜青葉）
- ・首都高（神奈川1号、5号、6号、7号、湾岸線）



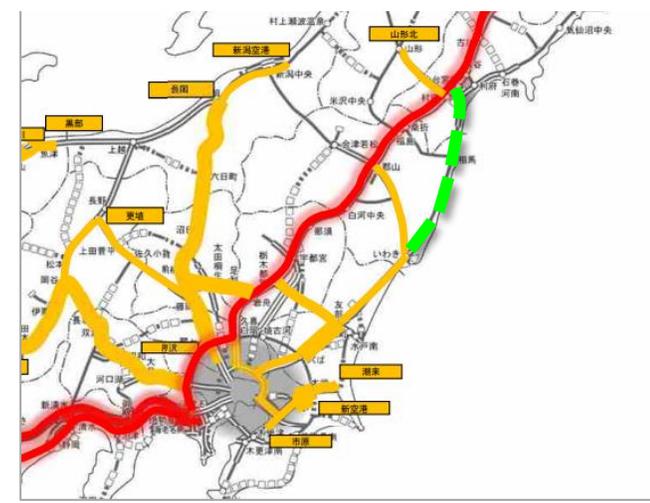
例) 関西～関東のバックアップルート

- ・北陸道（黒部IC～長岡JCT）



例) 東北エリアへの複数ルート確保

- ・常磐道（いわきJCT～仙台若林JCT）



《背景》

- ・ダブル連結トラックは通行する全線にて**申請事前の個別協議を必要**とし、且つオンライン申請が整備されていない
- ・連結全長はセミトラクタより長いが、**旋回軌跡の占有幅はセミトラクタより小さい**（ドリー式の場合）

・セミトラクタに対し、**申請にかかる期間が長い**

NLJの場合：セミトラクタは5週間で取得。ダブル連結トラックは13週間以上

・事前協議にて**個別の説明や問合せが都度発生**

道路管理者のダブル連結トラックへの認知度が低く、個別協議に時間がかかる

・回答書の**通行許可条件の判定基準が曖昧**

例：**セミトラクタはB条件の交差点が、ダブル連結はC条件**

前回申請でB条件で許可頂いた交差点が、新規の申請でC条件

C条件が付いた理由を問い合わせても「長くて危ない」との回答

・ダブル連結トラックの通行許可取得は困難で工数と費用がかかる

・申請してみないと通行条件が分からない（運行ルートが決まらない）

⇒**ダブル連結トラックの車両導入・運行の妨げになっている**

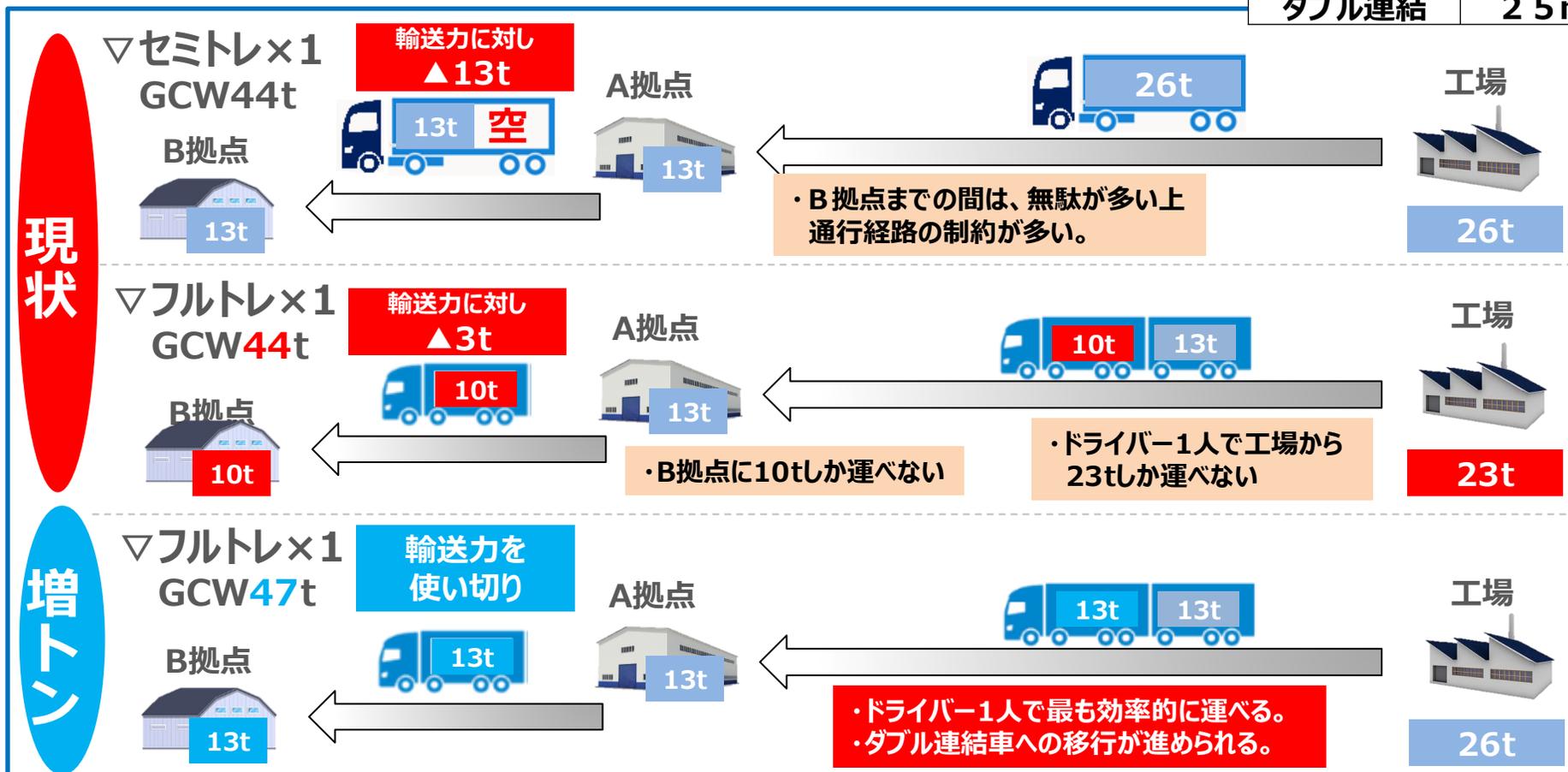
【要望】判断基準の明確化を行って頂き、オンラインによる申請認めて頂きたい

積載重量の困り事

《困り事》

・ダブル連結は、セミトラクタに対し、積載容積は有利だが、**積載重量は不利**

	全長	積載重量	積載容積
セミトラクタ	18m	26t	76m ³
ダブル連結	25m	23t	132m ³



・重量物の混載の場合、トラック2台分が運べない

【要望】ダブル連結トラックのGCWを44t→47tに増トンして頂きたい

NEXT
LOGISTICS

つながろう。
物流の未来と。